

おいしいお米をありがとう

長岡市立与板小学校 五年 高橋 茉衣

わたしは白いご飯が大好きです。

ふりかけも何もかけずに食べるのが大好きです。朝おいしいご飯を食べると、一日が元気に楽しくすごせます。わが家で食べているお米は、お父さん、おじいちゃん、おはあちゃんたちの田んぼからとれたお米です。

毎年、春に家族や親せきの人たちとすじまきをします。すじまきは箱にいねの種をまく作業です。自分で箱の中に入っている、土と種と殺虫剤が入っている箱を、こぼさないようにこんだり、機械のローラーにはずさないようにするのが大変でした。すじまきが終わったらあと、箱をハウスにもって行って白いシートをかぶせる。それはなにがというところをあたためるためです。

次に田植えをします。田植えは、五月六日ごろから始まります。

お米をつく。つくれている人たちは毎日

水の管理をしたり、雑草を取り除いたり、病
気にならないにならないよう注意して田んぼ
の見まわりとたいへんな努力をしています。
水が少なくなってしまうと、お米がおいしく
作れません。それに、台風や大雨などがきて
しまうといねがたおれてしまう可能性があり
ます。なので、水は足りなくないか、いねが
たおれていないかを毎日見回っています。

いよいよ八月おわりごろからいねかりが始
まります。いねかりは、いねをかる作業です。

今は機械でいねをかっています。昔はす
べて手作業でいねをかきていました。私の学
校は五年生になると社会の勉強でお米のこと
について勉強します。学校で田植えをした時
は、どろの中にはだしではいりました。どろ
の中に入って、苗を植えるのは転はないよう
にするのが大変でした。自分達でやってみて
昔の人の大変さが分かったような気がします。
私のうちの田んぼは10アールが100まいぐら
いお米を作っています。お父さんたちは、暑

い中100まいぐらいある田んぼを毎日見回って
います。汗だくになりながら毎日毎日見回
たおいしいお米。雨がふった時も、風がふい
た時も、お仕事してくれているので、おいし
いお米が家族みんなで食べられるんだと私は
思います。

わたしは、お父さんたちが協力をして、お
いしいおいしいお米を作っているすがたみて
とてもがっこいいなと毎日思っています。

お父さん、おじいちゃん、おばあちゃん、

いつもおいしいお米をありがとう。